農業施設建設全面委託運動

もの。 託し、適正建設を進めよっという 全農によると全面委託運動は、

するまでのすべてを機悩組織が委

そこで基本設計から施設が完成

農協、経済運、金農がそれぞれ機

される場合もあった」(全機建設 れていない面が強い。また建設を あり、施設導入、施行が計画化さ

一般菜者に委託した場合「手抜る

国の補助金 も二千億に

生産、流道施設体系の整備という

農業施設の建設は、農畜産物の

が出ている。 円にものはっている。そのため、 からの補助金だけでも年間二子億 には多額の資金が必要であり、国 対応体制が立ち遅れていたことも 適正施設を計画的に設置する必要 効果的な投資とする必要があり、 課題である。しかし、施設の導入 面から、機協組織にとって重要な ところがこれまで、農協組織の

て進める考え。全農ではこの運動を進めることで、適正施設の計画的導入で建設致の適正化が図られると見ている。 で全面的に変託を受けの機員施設の計画的設置の建設工事の円滑化の建設費の適正化を目指そうというもの。全農は今後、経済運、機器と協議し、機器組織一体となっ 金奘は新年度(七月)から、農業施設建設全面委託運動を進めることになった。豊協、生産者組織機能などの施設設計について、基本設計から施行管理、建材供給ま 行い、経済運は震傷への協力と予一 また、全殿は虚繁態改建設計画 一化を図る一方、技術対応な史景務 | 約、計画部の作成、提出と予約を 連携な生を行う。 体、建設同省と協議、建設の円滑 | 体、建設同省と協議、建設の円滑 | の分担計画を作ったりする。

(1975年6月10日付、日本農業新聞)